

平成27年度
第2回高松市香南地区地域審議会
臨時会 会議録

と き：平成28年1月21日（木）

と ころ：高松市香南コミュニティセンター大ホール



香南地区マスコットキャラクター「ししまるくん」

平成27年度
第2回高松市香南地区地域審議会
臨時会 会議録

1 日時

平成28年1月21日(木) 午前10時開会・午前10時53分閉会

2 場所

高松市香南コミュニティセンター 大ホール

3 出席委員 13人

会長	赤松千壽	委員	佐野健藏
副会長	松下桂子	委員	高木民子
委員	石丸英正	委員	富田壽子
委員	井上庄司	委員	中村麗子
委員	井上優	委員	丹生修
委員	植田義信	委員	松本弘範
委員	樽谷征子		

4 欠席委員 2人

委員	小比賀富沙子	委員	三好正博
----	--------	----	------

5 行政関係者

高松市長	大西秀人	創造都市推進局長	宮武寛
市民政策局長	城下正寿	市民政策局次長政策課長事務取扱	片山智規

市民政策局次長地域政策課長事務 取扱	多田雄治	スポーツ振興課長	高尾和彦
地域政策課長補佐	植田敬二	スポーツ振興課長補佐	高本直人
地域政策課地域振興係長	藤川盛司	スポーツ振興課管理係主任主事	森佑亮
6 事務局			
支所長	石淵孝博	管理係副主幹	高竹ちずる
支所長補佐管理係長事務取扱	柏敏城		

7 傍聴者 3人

会 議 次 第

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 議 事

(1) 協議事項

ア 高松市南部地域スポーツ施設（仮称）整備実施設計（案）について

4 その他

5 閉 会

午前10時 開会

会議次第1 開会

○事務局（柏） お待たせをいたしました。

予定の時間がまいりましたので、ただいまから平成27年度第2回高松市香南地区地域審議会臨時会を開会いたします。

委員の皆様方におかれましては、御多忙のところ御出席をいただき、誠にありがとうございました。

なお、小比賀委員さん・三好委員さんからは、本日所用で欠席されるとの御連絡をいただいております。

次に、傍聴人の方に申しあげます。

傍聴人の方におかれましては、傍聴証の裏面にあります事項を遵守していただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、赤松会長より御挨拶を申しあげます。

○赤松会長 御一同さんに、おはようございます。

大変寒い日が続いておりますが、臨時会を招集させていただきましたが、何かとお忙しいなか、大西市長さんをはじめ関係職員の皆様方や地域審議会委員の皆様、御出席を賜り有難うございます。開会に当たり一言御挨拶を申しあげます。昨年11月に開催した、本年度第2回目の地域審議会までの10年間には、定例会や臨時会、また幾多の勉強会等を開催してきましたが、その都度、建設計画の進捗状況を確認しながら、皆様のおかげで順調に進んでおりますと、一貫して申しあげてきたところでありましたが、その11月の地域審議会の終了の、その翌日、本日の協議事項になっておりますスポーツ施設の設計変更の状態が耳に入り、私は今まで市当局と築きあげてきた信頼関係はいったい何であったのかと、私自身、強い衝撃と憤りに変わってしまいました。このスポーツ施設のことでございますが、事の発端は30年以上も前のことで、国民皆体育、県民皆体育が叫ばれ、健康寿命の増進や国保会計の裏打ち等が力説されていた頃、昼間働いた人達が、夜に野球のできるグラウンドが欲しいとの要望からその機会を探っていた矢先、高松空港が現在の場所に決まり、その附属施設として野球ができるグラウンドが具体化し、太陽光線とホームベースの方向について検討するまで話が進んでいきましたが、周辺地域の空港建設反対運動により、滑走路の方向変更や、東四国国体のサッカー競技場開催などの、様々な要因で野球グラ

ドが頓挫し、幻になってしまっていた野球場が、今度はやっと造って貰えると、最後のチャンスと大きな期待を寄せていただけに、ショックの大きさも想像いただけるものかと思えます。実施設計で工事費が高騰したため、予算措置が難しくなったからという理由で、主な施設、メインとなるものを外すということは、病院は建てたけれども、内科の診療をやめるようなもので、野球場が建設できなくなったということは、特色あるスポーツ施設という願いが根底から覆されたことになり、合併協議や建設計画、地域審議会のあり方そのものにさえ、疑念が残るところでございます。私たちが高松市民となってから、今日で10年と10日が過ぎましたが、合併協議会の設置をめぐる、議会の意見が拮抗し、議長採決までして話を前に進めたときには、行政再編等で支所が地区センターになり、職員の減員、行政サービスの低下に繋がることなど、考えられなかったことであり、非常に不安に感じているところでございます。

しかしながら、私たちの地域は空港のまちとして、東京に一番近いまちとして、これからもまだまだ発展をし続けなければなりません。

それ故に、現実を度外視した議論をいつまでも繰り返すつもりはございませんし、時代の進展やニーズの変化に伴う見直しは、当然のことであるとは思いますが、ここは慎重を期していただきたいところであります。

本日は、滅多にお目にかかることのできない、市長さんがお出でいただいておりますので、その打開策や新しいまちづくりについて、この後お話がいただけるものと思っておりますが、常に大変お忙しい市長さんのスケジュールの関係で、1時間程度と伺っておりますので、この後、委員の皆さんからの質問や要望についても、大変失礼かと思いますが、端的にさせていただくようお願い申し上げます。挨拶が少し長くなりましたが、市長さんをはじめ関係の皆様方の御指導を頂きながら、工夫に努力を重ね、私たちの期待に近い施設が一日も早く完成することを祈念して、開会の御挨拶といたします。どうぞよろしく願いします。

○事務局（柏） ありがとうございます。

それでは、赤松会長さんにこれ以後の議事進行につきましをお願いいたしたいと思えます。赤松会長さん、よろしく願いいたします。

○議長（赤松会長） それでは、本地域審議会の協議第7条第3項の規定により、「会長は、会議の議長となる」とありますので、これ以後の議事について、議長を務めさせていただきますので、御協力をよろしく願い申し上げます。

また、本地域審議会協議第7条第4項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議が成立していることを報告いたします。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（赤松会長） それでは、会議次第2、会議録署名委員の指名に移ります。

会議録への署名委員を指名させていただきますが、本地域審議会の名簿順にお願いいたします。

本日の会議録署名委員には、石丸英正委員さん、井上庄司委員さんのお二人にお願いしますのでよろしくをお願いいたします。

それでは議事に入りたいと思いますが、本日はお忙しい中、大西市長さんに御出席をいただいておりますので、まず大西市長さんから一言御挨拶をいただきたいと存じます。市長さんよろしくをお願いいたします。

○大西市長 皆さんおはようございます。また1月でございますので、あらためまして、新年明けましておめでとうございます。赤松会長様をはじめ香南地区審議会の皆様方には、平成28年の新春をそれぞれ健やかに迎えられましたことと、心からお慶びを申しあげたいと存じます。また、日頃から皆様方には、高松市政の推進につきまして、それぞれのお立場で御理解御協力、また、御尽力を賜っておるところでございます。あらためまして、心から感謝を申しあげたいと存じます。今年の1月10日をもちまして香南地区と旧高松市が合併をいたしまして、ちょうど丸10年が過ぎたわけでございます。

先程赤松会長様の御挨拶にもございましたように、香南町におきましても、合併の以前から、合併の是非等の議論がかなり激しく行われまして、その間いろんな議論もあった中で合併を選択され、平成18年1月10日に他の4町と一緒に旧高松市と合併したということでございます。合併以降も10年間におきまして、皆様方には特に、この地域審議会の委員としては勿論でございますけれども、それぞれの立場から合併後の、この香南地域の発展、また高松市全体の施策の展開等につきまして、多大なる御貢献、また御尽力いただいているところでございます。そういう中で、地域審議会を定期的に参加いただきながら、諸課題を解決しながら今日に至ったわけでございます。ほぼ総論的には、この香南地区を含めまして合併町地区の発展、また全体の一体感の醸成といったことは、それなりに進んでいっていると思っているところでございますが、まだまだ課題も残されているところでございます。ただ10年を一つの区切りとして、ある程度目途を付けないといけな

いということをごさいます、その中で大きな課題となっておりますのが、本日御議論をいただく予定としております、南部地域のスポーツ施設の整備についてということをごさいます。合併にあたりまして建設計画を結んで、香南地区の合併後の10年間15年間に整備する事業等を決めているところをごさいます、その中でも特に香川町地区・香南町地区から出ております、この南部地域のスポーツ施設の整備につきましては、これまで、市の重点事業として位置付けてまいったところをごさいます、市議会の方から基本構想の策定時に、もう少し真に市民が必要とするスポーツ施設は何か、十分議論した上で、整備候補地を決定していくべきだと、候補地の選定自体から、いろいろな注文が付いておきまして、紆余曲折を経て今日に至っております。基本構想時におきましては、全体計画の中で、1期計画と2期計画を分離して利用状況を勘案しながら、最終完成形に持っていくという形で、市議会の了解を得て、基本構想を通して、実施設計をやってまいったところをごさいます。ただ、実施設計の段階に至りましては、土地の形状あるいは施設の整備状況、あるいは諸々の要因等をごさいます、基本構想時に想定していた事業費を相当程度上回るような、整備費が必要になってくるということが判明いたしたところをごさいます。当然、南部スポーツ施設等の整備を行っていくためには、その事業予算につきまして、市議会の了解を得た上で、整備をしなければいけないこととなりますけれども、今の市議会の状況等を見ますと、単純に事業費がこれだけ大きくなりましたという形だけでは、予算が通過しない。市議会の了解が得られないという厳しい状況もあります。また、何と言いましても私が大事と思っていますのは、この建設計画に盛り込まれました施設整備を完成をすること。それから、もう一つは整備した後の施設におきまして、より多くの市民の方が、有効に活用・利用していただくということが大事だということをごさいます、有効利用の観点からも、もう少し見直す必要があるのではないかとということで、今回、後で御説明させていただきます、見直し案を考えさせていただいたところをごさいます。

事業費も当初想定のある程度、想定内に収めた上で、よりプラスメリットとして使っていただけるような要素も加えた上で、変更案として今回お示しさせていただくことをごさいます。ただ、赤松会長からもお話がございました、いわゆる、専門の野球場的な整備、黒土のグラウンドというのがなくなってしまうというのが、一番大きなマイナス点をごさいます、野球等につきましても、設備・用具等のある程度整備することによって、使用可能になる整備も考えてまいりたいと思っておりますところをごさいます。

是非ともこの変更案につきまして、そういう事情をごさいますので、皆様方に十分お聞

きいただいて、御議論いただいたうえで、御了解をいただきたいというふうに考えているところでございます。

地域審議会で御了承が得られましたら、市議会に関連予算案を出させていただきまして、市議会への説明もきちとした上で、御了解を得られるよう最大限の努力をして、早期完成に向けて取り組みたいというふうに考えておりますので、どうかよろしくお願いたします。それでは具体的な見直し案等につきまして、担当課から御説明をさせていただきます。

○議長(赤松会長) 市長さんありがとうございました。

会議次第3 議事

(1) 協議事項

ア 高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備実施設計(案)について

○議長(赤松会長) それでは議事に入りたいと思います。議次第3、議事(1)協議事項ア高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備実施設計(案)について、スポーツ振興課より説明をお願いいたします。

○高尾スポーツ振興課長 スポーツ振興課高尾でございます。座って御説明させていただきます。資料は1点ございまして、A4横の「高松市南部地域スポーツ施設(仮称)整備実施設計(案)について」でございます。御説明させていただく内容につきましては、本年1月14日に開催させていただきました、勉強会と重複する部分もございしますが、御了承していただけたらと思います。

それでは、資料の1ページをお開きいただきたいと思います。まず初めにこれまでの経緯について御説明をさせていただきます。当局において、平成25年11月に基本構想(案)を取りまとめ、同年12月の経済環境調査会において、御説明いたしましたところ、様々な御意見をいただき、整備計画を見直すこととなりました。そこで基本構想(案)のうち、管理棟と夜間照明につきましては、竣工後の利用状況等を勘案し、整備を検討するとの内容の一部変更を行い、平成26年4月にあらためて、経済環境調査会において説明し、了承いただき、同年6月に基本構想を策定いたしました。その後、平成27年1月に実施設計に着手し、このたび、実施設計が一定程度まとまりましたので、その内容について、御説明させていただくものです。説明につきましては、基本構想との主な変更部分を中心に御説明をいたします。

次の2ページをお開きください。整備内容における主な変更点について、御説明させていただきます。説明は、基本構想の平面図をもとに御説明いたします。平面図の左が北側でございます。

なお、変更後の平面図は、3ページでございますので、後ほど御確認いただければと思います。

基本構想からの主な変更点は、4点ございます。1点目が、「①土砂災害、落雷、鳥獣害対策等の安全確保のための整備」でございます。東側進入路付近が、土砂災害特別警戒区域に指定されておりますことから、土砂災害特別警戒区域に対応することができる、土木・擁壁工事を増加することといたしました。また施設周辺において、猪の目撃情報があることから、猪が施設に侵入できないように、施設西側を中心に、フェンスを新規に設置することや、落雷対策のための避雷針等を新規に設置するなど、利用者の安全確保のための整備を追加しております。2点目が、「②進入路のルート変更及び駐車場、駐輪場の配置変更」でございます。道路構造令に規定する縦断勾配、斜度12パーセントというものでございますが、これに準拠した進入路にするために、東側進入路のルートを変更し、3ヶ所に分かれていた駐車場を1ヶ所にまとめることにより、利用者が安全に施設を利用でき、利便性を図ることができるように、整備を行うものでございます。3点目が、「③多目的グラウンド（人工芝）の形状変更」でございます。多目的グラウンド北側にある野球場、先ほど市長のほうから申しましたように、内野が黒土部分でございますが、これを取りやめ、サッカーのフィールド部分を北側にずらして整備するものでございます。4点目が、「④天然芝生広場の拡張」でございます。多目的グラウンドを北側にずらしたことに伴い、空いたスペースを天然芝広場とし、誰でも無料で自由に使ってもらえるスペースとすることで、地元の方がグラウンドゴルフ、散歩、イベント等にも利用することができるように整備を行うものでございます。その結果として①の整備や昨今の市場価格の上昇等により、事業費が増高する見込みとなりました。そのため今後、市議会の理解を得て、本事業を推進するためにも、当初の整備計画を変更させていただいた次第でございます。

次の3ページをお開き願います。先ほど、御説明いたしました、基本構想からの変更点を反映した、実施設計（案）の平面図と変更に伴う利用形態を整理したものでございます。まず、基本構想時の利用形態につきましては、有料エリアである人工芝グラウンドにおいて、成年サッカー1面、少年サッカー2面、フットサル4面、軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ホッケー等を想定しておりました。実施設計（案）につきましては、

人工芝グラウンドにおいて、正式な軟式野球及びソフトボールの使用が困難になりますが、天然芝エリアを拡張したことに伴い、無料エリアである多目的芝生広場において、グラウンドゴルフやイベントスペース等が、新たに使用可能となったものでございます。

なお、軟式野球及びソフトボールの使用につきましては、右側の改善策にありますように、人工芝の多目的グラウンド北西角、野球場でいうとライト側でございますが、その天然芝のスペースにつきましては、天然芝を人工芝に変更することの可能性を今後の変更設計の中で検討するとともに、バックネット、ピッチャープレート、ベース等の野球関連用具を備品で対応することも検討し、正式な試合はできませんが、軟式野球及びソフトボールでの使用を今後、検討してまいります。つまり、計画の変更案につきましては、黒土のグラウンドがなくなるといった、ハード面の変更はございますが、グラウンドゴルフ等で利用できる、無料の天然芝生の多目的広場を拡充したり、人工芝の多目的グラウンドにおいても、できるだけ野球の利用がしやすいよう、今後、変更設計の中で検討するとともに、備品での対応も検討することで、より利用価値が高まり、利用勝手が良くなるように考えてまいりたいと存じます。

最後に、4ページをお願いいたします。整備スケジュールについて、御説明をさせていただきます。基本構想におきましては、平成28年度の竣工予定でございましたが、実施設計業務に遅れが生じている状況ではございますが、今回の実施設計（案）について、御了承していただき、3月議会において、事業費を平成28年度当初予算に計上することができれば、平成28年度から工事に着手し、平成29年中の竣工を目指すことが可能となっております。以前から御指摘があります、夜間照明につきましては、実施設計のなかで工事の後戻りがないように、人工芝の下に電気配線用の埋設管を設置したり、夜間照明を設置可能な防球ネットを整備する等、今後、地元の皆様の要望や利用状況を勘案しながら、できる限り早期に整備できるよう、最大限、努力してまいりたいと存じます。

また、先日の勉強会において、御指摘のありました、ピッチャーマウンドの備品対応、高齢者が利用できる健康器具の設置については、予算の制約等はございますが、今後検討してまいりたいと存じます。以上で「高松市南部地域スポーツ施設（仮称）整備実施設計（案）」についての説明を終わりますが、私共といたしましては、施設の早期完成のためにも、今回の実施設計（案）について、何卒、御理解いただき本計画の推進に御協力いただきますようお願い申し上げます。以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（赤松会長） ただ今御説明がありました、高松市南部地域スポーツ施設（仮称）整

備実施設計（案）につきまして、各委員さんにより御発言をいただきたいと思います。

はい、石丸委員どうぞ。

○石丸委員 先日の勉強会において、私は怒っているというようなことを冒頭に申しあげました。その後いろいろと御説明をお聞きしながら、多少なり納得したところもありますが、再度、今回の地域審議会、議事録を取っているところで、御質問させていただきます。

1点目は、昨年11月26日、冒頭に会長からの挨拶にもありましたとおり、翌日11月27日にその基本的な設計が大幅な変更がある。結局は野球のグラウンドがなくなるというようなことを聞きました。26日の地域審議会においては、なぜその内容が審議されなかったのか。われわれ地域審議会は過去10年間において、いろいろとその建設計画について、時間と労力をいろいろと費やしてきたわけですが、27日に発表があるということは、振り返ってみれば、もっと1か月・2か月・3か月前、もっと前からこういう計画があったのではないかと。非常に不信感を抱いたところです。それと、もう1点、過去10年間に地域審議会が開催されてきたわけですが、この地域審議会の御意見を十分に尊重しながらという、市長の審議会での答弁で、我々は非常に安心をしておりました。それで過去10年間の香南町における建設計画については、十分余るほど対応していただいて、本当に感謝していたところですが、その一件において、覆ったというのか。そういうところがあって、今後、合併特例法が5年間延長する中で、我々地域審議会が年1回ですが、協議する中で、その協議が間違いなく進行していけるのかというような、不信感を抱いているところは否めないところです。

この2点、前回の勉強会にも質問させていただきましたけれども、なぜ翌日に発表があった理由と、今後どういうふう到我々の地域審議会が位置付けされていくのか、というところを御質問させていただきたいと思います。以上です。

○大西市長 はい。

○議長(赤松会長) はいどうぞ。

○大西市長 ありがとうございます。まずもって今回の件につきまして、公表が、地域審議会が行われ、そこで何も触れられないまま、次の日にこういう形になったことにつきまして、これは全くの不手際でございますので、謝らさせていただきたいと思っております。

勿論、理由といたしましては、公表のタイミングとか議会との関係マスコミとの関係、いろんなものがあつての上でのことではございますが、ただ今言われましたように、前日に地域審議会があつて、一言も話が出てないのにとするのは、これはやはりまずやり方だ

と思っておりますので、その点につきましては、お詫びを申しあげたいと存じます。

また地域審議会の皆さんとの信頼関係、これはきちっと保ったまま、今後ともやっていただきたいと思っておりますし、これまでも、今回の一件は本当に申しわけございませんでしたけれども、それなりに特に香南町さんとの間では、建設計画の遂行についてかなりお互いにやり取りしながら、本当に成果がある程度上がってきていると思っております。

地域審議会につきましても、今後5年の延長を決めさせていただきましたので、合併特例債の使用の最終になります、5年後に向けて今後とも、皆様方と十分に腹を割った形で御意見を交換させていただいた上で、その御意見を最大限尊重しながら、この地域づくりに生かしていきたいと考えております。今後とも、よろしくお願ひしたいと存じます。

○議長(赤松会長) はい、石丸委員。

○石丸委員 市長、ありがとうございます。局長の方から答弁があらうかと思っていたのですが、市長からそのような答弁をいただくとは、本当に腹を割った話をいただいたかなと思っておりますので、今後その信頼関係に向けて、また過去の信頼と同じく私共も頼ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長(赤松会長) ほかにございませんか。

○石丸委員 この実施設計の中身について、質問させていただきます。

2期工事というお話があったわけですが、管理棟及びナイター設備、それと含めて、将来の野球場の不足部分について、考えていくのだということの、御説明をいただきましたけれども、その2期工事は間違いなくやりますと、はっきりとここでお答えをいただきたい。もう一点、その利用率によって、今後その2期工事がスタートする時期が変わってこようかと思うのですけれども、利用率を上げるためにどのようなことを考えるのか。どういうふうに時間を掛けて、先を考えていくのかということと、もう一つ、将来の正式な野球場は考えているのかいないのか。

その3点について御質問をさせていただきたいと思っております。

○議長(赤松会長) お答え願ひます。はい、局長どうぞ。

○宮武創造都市推進局長 御質問ありがとうございます。まず1点目の2期工事は間違いなくやるのかという御質問でございますけれども、言葉の上で間違いがないと申しあげることはできません。御理解をいただきたいと思っております。ただ、2期というからには、全体の工事の構想があったうえで、まず、1期をやり、次が2期ということでございますので、是非ともそこは、2点目と絡みますけれども、このスポーツ施設を作った上で、皆様方の

御利用いただいたうえで、早期の着工・完成を目指してまいりたいと考えております。

2点目の利用率の向上のために、具体的に何をやるかということでございますけれども、それは、このスポーツ施設が利用できる、各競技団体等にお願いをしていこうと思っておりますし、具体的には特にサッカーに関しましては、社会人リーグの公式試合をやる場所が、現在でも不足をしています。是非、正式な試合場所に使えるようにお願いに参りたいと思っておりますし、少年サッカーや、昨今、ラグビーがブームになっていますので、それに押し出される恰好で、そういう芝生系のスポーツをやる場所が不足している情報がございます。

そこにも、こういう施設がこのように使えるということ、周知していきたいと思っております。

また、グランドゴルフとか色々な種目で使えるということで、お願いしていこうと思っております。それからカマタマーレ讃岐、勿論、彼らの練習場は東部運動公園でございますけれども、こちらの方でも利用させていただいて、施設の知名度の向上等にも、御協力をお願いしていこうと考えています。

それから、3点目の、将来正式な野球場ということでございますが、ここは申しわけございません。現時点ではそのような予定はございません。正式なという言葉にこだわりますけれども、もともと基本構想案におきましても、正式な野球場とまでは申してない部分でございます。少しでもその野球場としての機能の高いものを付加していこうという、基本構想の策定委員会でのお話であったと理解しています。今後、備品等の対応で、課長から御説明を申しあげましたように、野球やソフトボールでも、正式な御利用はできませんけれども、より使い勝手のいいような方向で検討させていただきたいと考えています。以上でございます。

○議長(赤松会長) はい、石丸委員。

○石丸委員 先ほど、信頼関係が修復できたところで、信頼いたしますので、よろしくお願ひします。

○宮武創造推進局長 ありがとうございます。

○議長(赤松会長) ほかにございませんか。丹生委員どうぞ。

○丹生委員 大体の話は分かりましたけれども、少しいろいろと考えますと、野球とかサッカーができる、特色あるスポーツ施設が建設されると数年前から聞いておりました。そういう中で、香南町の町民は非常に喜んでおりました。また期待をしておりましたが、今

日このような話を聞くと、非常に残念に思うとともに、行政に対する信頼度の低下につながるのではないかと思います。そして話を進めていました、我々地域審議会委員、特に辻市議会議員など、そういう方の立場はどの様になるのか。また、期待を裏切ることについての説明責任はどの様になるのでしょうか。私ごとですが、この正月にある団体の新年会によばれ、このスポーツ施設はいつできるかと聞かれたときに、11月26日までは胸を張って返事ができたのですが、このときに聞かれて、進んでいるというか、細々とした声で返事をしたということで、その方からどうも不信感を抱かれた気もいたします。今後、変更されるとなると、市民に対して、どのように説明されるのか教えていただきたいと思っております。以上でございます。

○議長(赤松会長) 局長どうぞ。

○宮武創造都市推進局長 はい、御質問ありがとうございます。まず当初の基本構想まで、野球やサッカーができる、特色ある施設ができる構想で進めてまいりましたところ、諸般の事情で、その野球の部分がかなくなかったということにつきましては、本当にお詫びを申し上げます。申しわけございませんでした。その説明ということでございますけれども、これまでのお話でございましたように、これは合併時の建設計画に登載された事業でございます。それは紳士協定でございますから、実施、実現しなければならないということで、これまで努力を重ねてまいりました。

ただ、それを実施するにあたりましては、合併後の高松市として、それを実施するというものですから、やはり市域全体にとって有益でなければならないという考え方に立って、合併地域の皆様方も同じ視点で、自分たちだけの地域のことだけをおしゃっているのではないと、私は理解をしておりますし、旧高松市の市民も皆様方と一緒に、合併で何ができるかという視点で物事を考えて、これまで10年間そうしてきたと思っています。そういう観点から、市民の皆様に対しての説明といたしましては、限りある財源の中でどこまでできるか、できる限りのことをやっていくということが、今回の実施設計の変更案であると御理解をいただきたいし、説明責任という言葉に拘りますと、それは結果において、皆様方に御納得を頂戴いただくことだと理解していますので、完成の暁に皆様方に御利用いただいて、この施設が良かったといわれるような運営を行うことによりまして、説明責任を果たしていきたいというふうに考えています。以上でございます。

○丹生委員 ありがとうございます。とにかく、市民が納得できる説明をよろしく願います。

○宮武創造都市整備局長 ありがとうございます。

○議長(赤松会長) ほかにございませんか。

○松下委員 いいですか。

○議長(赤松会長) はい松下委員どうぞ。

○松下委員 松下です、よろしく願いいたします。大西市長におかれましてはお忙しいなか、新しい高松市の誕生から10年という、この大きな節目にこうしてお出でいただきまして、心より厚く御礼を申しあげます。

私の方から1点のお願いと1点の御質問をさせていただきたいと思います。今、石丸委員からお話しが出ましたが、2期工事についてですが、この施設がこの実施設計案のとおり出来上がっても、魂が入るのは難しいかなと考えます。ただ施設ができて、使ってくださいといっても、そこにはいろいろとプラスした思いが入ってこそ、人が集うのではないかと思います。この広場で子どもたちが遊び、笑い転げ、また若者がスポーツに励み、また、お年寄りも集まって楽しい笑顔、おしゃべり等があふれる、そんな施設になることを夢見ています。是非、健康寿命を延ばす意味でも、先日少しお伺いしたのですが、市長からもお話しがありました、プラスメリットを考えますよというお話。また高尾課長からも、多目的広場の備品の検討もあるとのことのお話も伺いましたが、是非とも、老人向けの遊具の設置、是非この2期工事にお考えいただきたい。強く願っています。歩きながら、この広場の周りに所々に、その遊具を置いていただくことにより、遠くのところでは、考えもしなかったような人が集まりだしたというお話。テレビで視ていてびっくりしました。この施設にも私は、特色を付けるべきだと考えます。ただこういう施設ができましたよ。ではなくて、ここはこれに力を入れていますと。健康寿命を延ばすために、各世代が集うために、こんなに力を入れているという、大きい思いを付加させていただきたいと、強く願っておりますので、是非とも老人向け遊具は設置の方向に向けて、いろいろと金額の問題もあろうかと思いますが、許される限りの中でお取り組みいただけること、ここにこういう特色を付けるためにもお考えいただきたいと強く願っております。よろしく願い申しあげます。

それともう1点の質問ですが、この施設のネーミングですが、普通はこの仮称というのが、そのまま名前になってしまうことが多いかと思いますが、私はそうじゃないと考えております。本当に人々が集まりやすい、暖かい名前をお考えいただきたいと、それには公募とかいろいろな方法があるでしょうが、是非とも誰もが一度は行ってみたいと考えるような、名前を付ける方法もお考えいただきたいと思います。このネーミングについて如何

なっておりますか。お聞きいたします。

○議長(赤松会長) 高尾課長どうぞ。

○高尾スポーツ振興課長 1点目の老人用の遊具を是非設置してほしいということでございますが、今回この案で御了承いただいて、造り始めたらそれで終わりということでございませので、地域審議会の委員さんの御意見も聞きながら、当然、夜間照明ということが今後残っておりますので、その部分についても、皆様方と意見交換をしながら、是非早期に設置できるように、皆さんのお知恵等もお借りしながら、その中で多目的広場の有効な利用についても、引続き皆さんの御意見等、利用者の御要望等の声を聞きながら、可能性について、先ほども言いました、予算の許す限りの中で、設置については検討してまいりたいと思います。

よろしく願いいたします。

○議長(赤松会長) はい、ありがとうございます。はい、ネーミングについて。

○宮武創造都市推進局長 いろいろと御提案ありがとうございます。

ネーミングにつきまして、まだ詳細を考えているわけではございません。このまま仮称を取るのか、新たな名前を考えるのかというところでございますけれども、皆様方から頂戴する御意見を考えますと、これは何かいいネーミングができればと、今思っておりますので、皆様方の御意見をお伺いしながら、公募なのか、なんなのか、いろんな方法があるかと思いますが、皆様に親しんでいただけるような、ネーミングをこれから検討してまいりたいと思います。

○議長(赤松会長) ありがとうございます。

○松下委員 はい、ありがとうございます。是非とも2期工事で人が集まりやすくなるために夜間照明とか、諸々のことをお考えいただけると信じ、お願い申し上げます。ネーミングについてですが、秘かに1案考えておりますことがあります。大阪のエキスポシティの中にできました「二フレル」という施設。何故そんなややこしい名前かと思ったら、動物に触れる。感性に触れるということで「二フレル」となったそうです。

私たちがこの新しくできる施設、ここは本当に元気があふれる。笑顔があふれるそういう意味でも「アフレル」という名前がいいなと一人で考えたのですが、「高松南アフレル」とかそういう、変わった名前を付けることで、まず興味を持っていただけることが大事でないかと思い、秘かに名前を付けていますので、公募がありましたら、応募したいと考えております。

○議長(赤松会長) はいありがとうございます。さすが、松下さん、飛躍した話、ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。はい、植田委員どうぞ。

○植田委員 植田です。よろしくお願いいたします。

今日は市長さんお忙しい中、ありがとうございます。

今日はスポーツ施設に特化した臨時会ということですので、実は私、他に心配している問題がありますが、今日はそういった質問ができないのは残念です。そこで、スポーツ施設について1点要望させていただきます。南部地域の核となるスポーツ施設については、人気のある野球場やサッカー場を中心として、多目的な施設が整備されるということで、私も大いに期待し、喜んでおりましたが、管理棟や夜間照明の先送りに続いて、今回の実施設計案では、楽しみにしていました野球場の整備が無くなりました。屋島陸上競技場再整備事業については、工事費の大幅な増額が認められましたが、南部地域スポーツ施設についても、建設計画や高松市まちづくり戦略計画の中で、重点取組事業として位置付けられています。

それなのに、なぜ計画がこうも次々と後退していくのか。何か割り切れない思いでいっぱいでした。しかしながら、今日は市長さんのお考えをお聞きすることができました。そして担当部局からも、先日の勉強会に続いて非常にわかりやすい御説明をいただきました。高松市としても予算の関係、対議会の関係。そして限られたスペース等、いろいろ厳しい制約のある中で、市民の皆さんに喜ばれる、より良いスポーツ施設の整備に、御苦労や御尽力されていることがよくわかりました。香南地区地域審議会といたしましても、お願いすることはきちんとお願いし、譲るべきことは譲っていかねばいけないと思っているところでございます。

どうかこの実施設計案に基づき、夜間照明も備えた素晴らしいスポーツ施設を早期に整備していただき、多くの市民の皆さんに利用していただき、それがひいては香南地域の活性化にもつながるよう期待していることを申しあげて、私の要望を終わります。ありがとうございました。

○議長(赤松会長) はい、ありがとうございました。他にございませんでしょうか。はい、井上委員どうぞ。

○井上庄司委員 井上と申します。よろしくお願いいたします。

1点だけ少しお尋ねしたいことがございます。先ほどから、夜間照明の件が出ています

が、利用率をみてから御検討いただけるということですが、もし利用率が低ければ、やはりみんなの心配しているとおりで。だから、ナイター設備も必要なのだと、前向きに検討しましょうというふうに理解してよろしいですか。

○議長(赤松会長) お答え願います。

○宮武創造都市推進局長 ちょっと意味合いが逆でございまして、夜間照明や管理棟ができない場合においても、一定程度、皆さん方がお使いいただけるような施設であれば、より利用率を延ばすためにも、夜間照明・管理棟を追加していきましょうということでございますので、1期工事終了後、是非ともしっかりとお使いいただきたい。よろしく願いいたします。

○井上庄司委員 個人で考えますと、やはり利用率はナイター設備が無ければこんなに少ないではないですか。こんなに少ないのであれば、必要なのだというふうに理解していただきたいと思ったものですから。少し言葉が足りませんでしたけれども、質問いたしました。ありがとうございました。

○議長(赤松会長) はい、ありがとうございました。他にございせんか。

はい、石丸委員どうぞ。

○石丸委員 今回この議題になぜ市長が出席されるのかなという話は、地域審議会の勉強会の中でしました。なぜ頭を下げに来るのかというのが十分に伝わったわけですが、十分に鑑みて納得すると、というところでの落ち着き方をしたわけですが、今回は今回として、今後5年間、地域審議会は開催されるわけですが、この機会だけでなく、また、前向きな議論・協議をする時に時間を割いていただいて、是非とも出席いただいたら非常にありがたいということで、要望させていただいて終わります。

○議長(赤松会長) ありがとうございました。他に。

他にないようでございますので、以上で、本日予定しておりました議事は終了いたしました。最後に、市長さんから南部地域スポーツ施設の整備を進めていくにあたって一言、御言葉をいただけませんか。

○大西市長 どうもありがとうございました。一言お礼の御挨拶を申しあげたいと思います。本日は本当に急な開催にも関わらず、年始の本当にお忙しい中を、皆様方お集まりをいただきまして、また熱心な御議論をいただきましたこと、そして最終的にどうにか見直し案につきまして御了承をいただきましたこと、心から御礼を申しあげたいと存ずる次第でございます。この南部施設のスポーツ施設等につきましては、かなり大きな課題と

して、ずっと残ってまいったわけでございます。今回も見直しに見直しを重ねるということで、こうやって皆様方に苦しい御選択をいただくという形になったことでございます。ただ、これで御了承いただいた以上は、我々といたしましても、責任を持って市議会に関連予算を上程して、早期整備に努めてまいりたいと思っておりますし、今日いただいた御意見等、あるいは第2期工事につきましても、できるだけ早くきちっと実現できるような形で、尽力してまいりたいと思っております。今後とも皆様の絶大な御理解御協力をお願いいたしまして、また、この施設の整備をした後の利用状況が非常に重要でございます。是非地元の皆様を中心として、多くの皆様に御活動いただき、親しめる施設にしていきたいと思います。今後とも皆様方の御理解御協力を強くお願い申しあげまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。

○議長(赤松会長) 市長、どうもありがとうございました。

それでは、次に、会議次第4「その他」ですが、何かございますか。

特にないようでございますので、以上で本日の会議日程は全て終了いたしました。

皆様方におかれましてはお忙しい中、御協議を賜り、また円滑な進行に御協力をいただき誠にありがとうございました。これをもちまして、「平成27年度 第2回高松市香南地区地域審議会臨時会」を閉会させていただきます。

午前10時53分 閉会

会議録署名

委員

石丸英正

委員

井上庄司

